

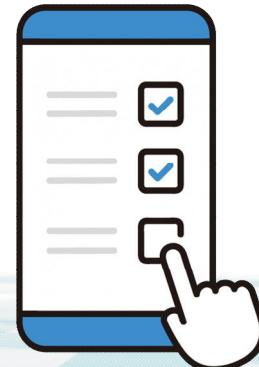
# 子育て世代を対象とした 地域課題の現状把握についてのアンケート 集計結果報告



2025年12月  
地域政策課

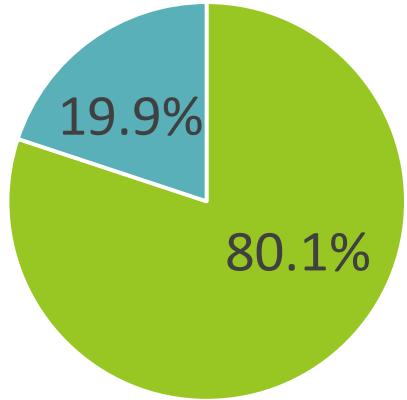
# アンケート概要

- (1) 目的・概要 地域における課題の把握と今後の施策検討のため、  
小学校の保護者を対象としたアンケートを実施
- (2) 対象者 松江市内各小学校の保護者
- (3) 調査方法 しまね電子申請(totoru(テトル)・メールにてURLを配信)
- (4) 調査期間 令和7年10月20日(月)～11月7日(金)
- (5) 設問数 17問
- (6) 回答結果 1,497件
- (7) 公表 松江市ホームページにて掲載



# 【基本情報】

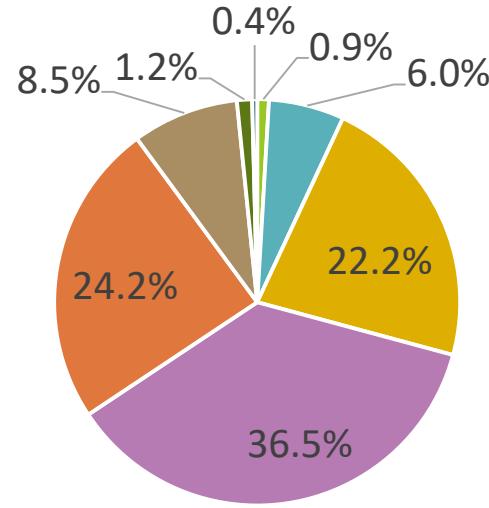
問1 あなたの性別を教えてください



(n=1,497)

■女性 ■男性

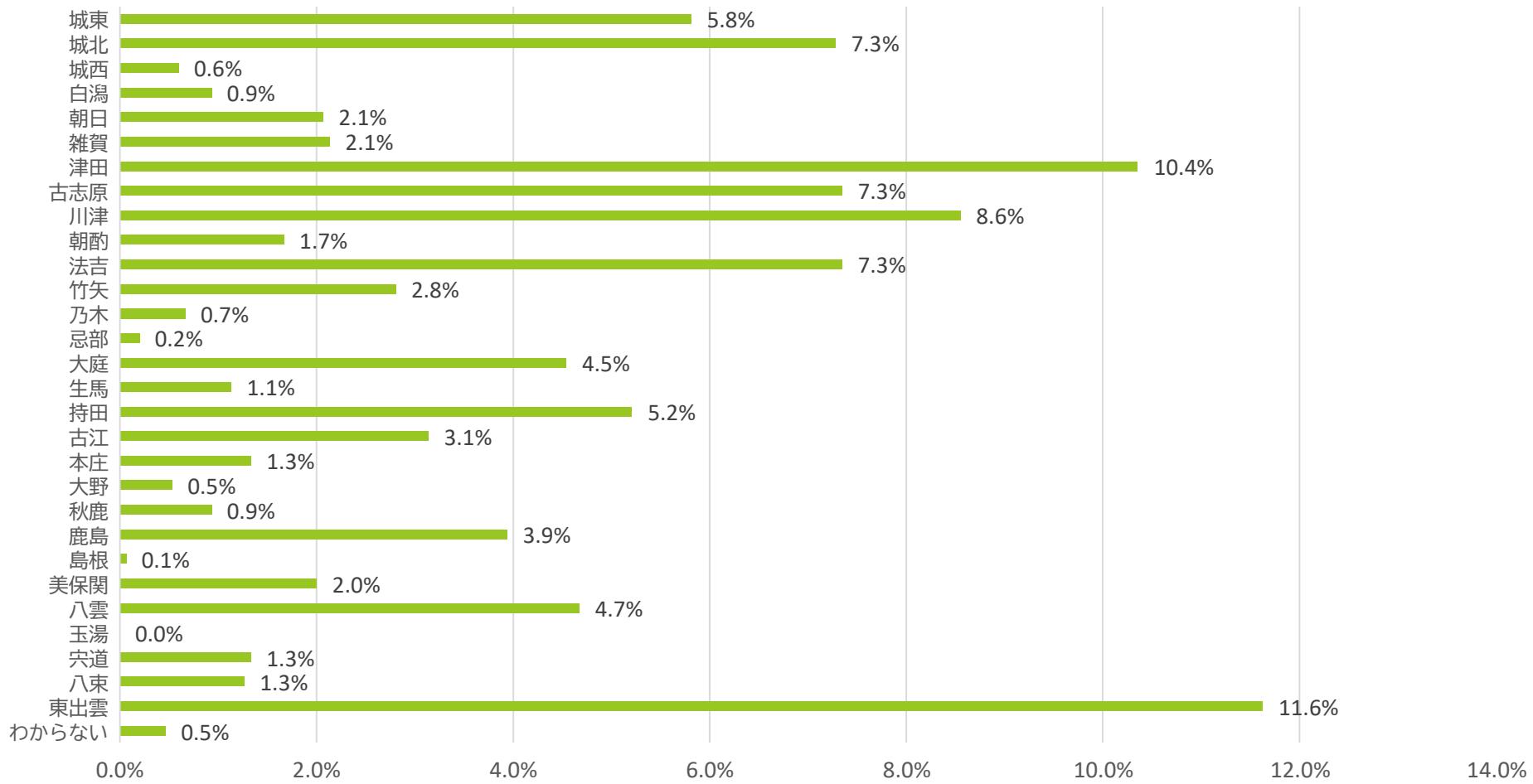
問2 あなたの年齢を教えてください



(n=1,497)

■ 30歳未満 ■ 30~34歳 ■ 35~39歳 ■ 40~44歳  
■ 45~49歳 ■ 50~54歳 ■ 55~59歳 ■ 60歳以上

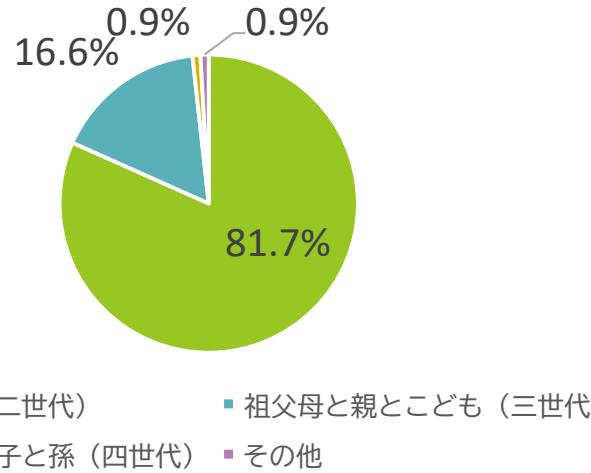
### 問3 お住まいの公民館区はどこですか？



# 【基本情報】

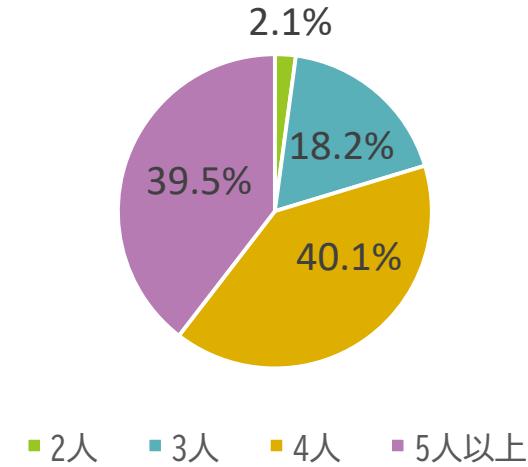
## 問4-1 家族構成について

「親と子ども(二世代)」が81.7%と最も多い、次いで「祖父母と親と子ども(三世代)」が16.6%であった。



## 問4-2 同居人数

「4人」が40.1%と最も多い、次いで「5人以上」が39.5%であった。



## その他の回答

祖父母、親、子供、叔母

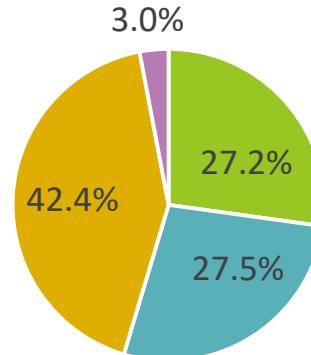
祖父母と親と子供と祖父の姉と母親の姉

祖母と祖母の娘と親と子ども

# 【基本情報】

## 問5 あなたの居住歴を教えてください

「松江市外の出身で、転入してきた(Iターン)」が42.4%と最も多く、次いで「市内出身で、松江市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)」が27.5%、「生まれてからずっと松江に居住している」が27.2%であった。



- 生まれてからずっと松江に居住している
- 市内出身で、松江市外へ転出した後、戻ってきた (Uターン)
- 松江市外の出身で、転入してきた (Iターン)
- その他

### その他の回答

転勤族だったため、居住を転々としている

県外出身で仕事の関係で松江市で暮らしている

学生時代は他地域住み経験あり

外国から

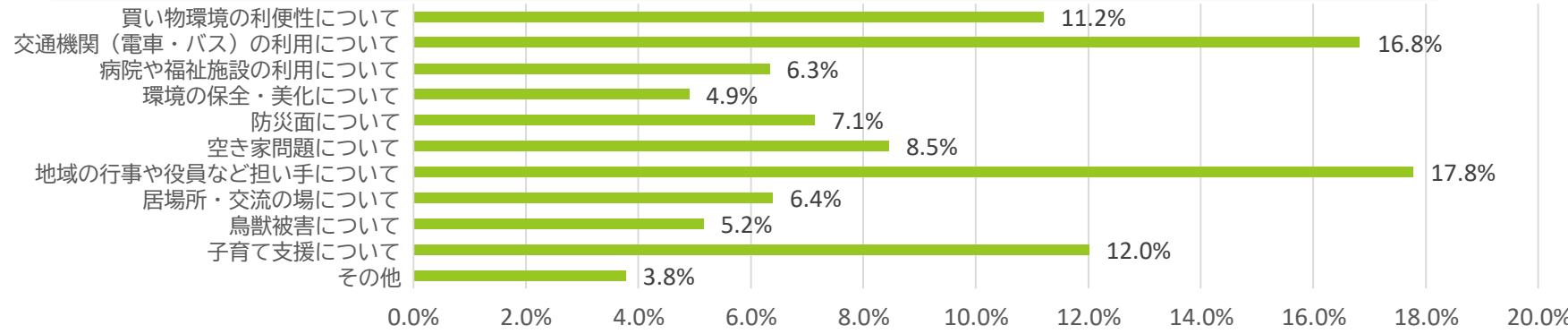
親の転勤で松江市に転入、その後進学で転出、就職で転入

# 【地域でのお困りごとについて】

## 問6 お住まいの地区において、困っていることはありますか？

「地域の行事や役員など扱い手について」が17.8%と最も多く、次いで「交通機関(電車・バス)の利用について」が16.8%、「子育て支援について」が12.0%であった。

その他としては、「子どもの遊び場」や「学校までの距離」、「防犯面」、「環境・衛生の問題」などの回答があった。



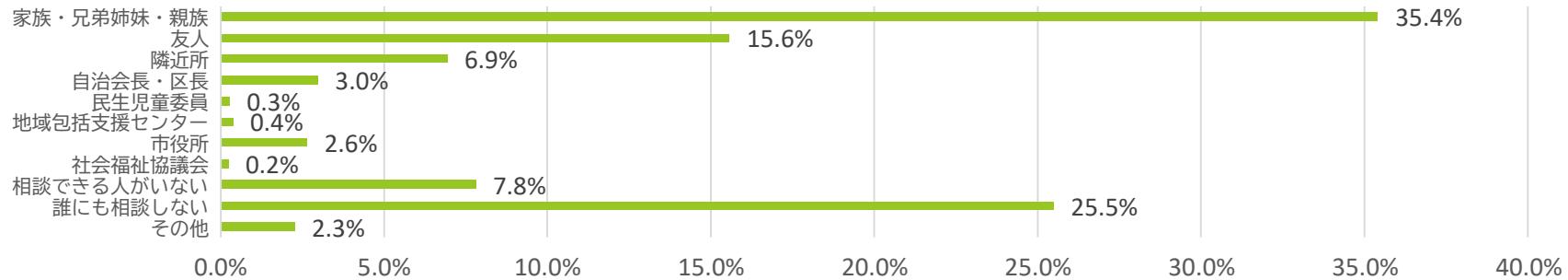
## その他の回答

子どもの遊ぶ場所が少ない。小規模の公園や室内で遊べる場所等	町内会の役員等は、高齢化や、若年層は忙しく町内会に入らない等の理由で、同じ人しかやらず、不満や疲弊している
公民館区と小学校区が違うことに困っている(学校までの距離が遠い)	自治会費が地区によって異なり、その差が大きいこと
防犯面について(不審者等)	将来運転が難しくなったときの、移動手段が不安
道路について、狭い・傷んでいる箇所が多い等 歩道についても狭くて危険	野良猫の糞被害、野良犬がうろついていること
山崩れや河川の増水の心配	

# 【地域でのお困りごとについて】

## 問7 「6」で回答したお困りごとについて、特に誰に相談しますか？

「家族・兄弟姉妹・親族」が35.4%と最も多く、次いで「誰にも相談しない」が25.5%、「友人」が15.6%であった。その他としては、それぞれ困りごとに応じた相談先がある一方で、「ネット」や「相談先が分からない」、「相談しても解決しなかったから相談しない」などの回答があった。



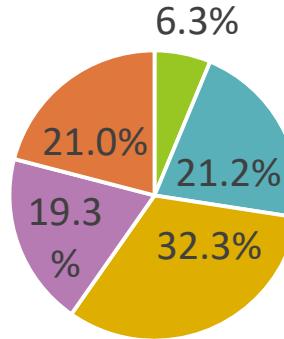
### その他の回答

松江市の市役所(子育て関連の課)	市議会議員
子供が所属する学校や保育園等	警察
子どもの地区会	会社の同僚
公民館、公民館長	管理会社
相談支援事業所の相談員さん、主治医等	ネット
幼稚園や病院、福祉事業所	誰に相談して良いかわからない
弁護士、議員等	相談しても解決しなかったから相談しない

# 【地域活動について】

## 問8-1 地域活動への参加について

「たまに参加している(年に1・2回程度)」が32.3%と最も多く、次いで「定期的に参加している(2~3ヶ月に1回)」が21.2%、「参加したことがない」が21.0%であった。



- よく参加している（月1回以上）
- 定期的に参加している（2~3ヶ月に1回）
- たまに参加している（年に1・2回程度）
- 現在は参加していないが、過去には参加したことがある
- 参加したことがない

## 問8-2 地域活動に参加している場合、どのような活動に参加しているか

自由記述により、主に次のような回答があった。特に、「地域の運動会やお祭りなどのイベント」や「清掃活動」、「自治会役員」、「子ども会の役員」などの回答が多くかった。

### 自由記述による回答

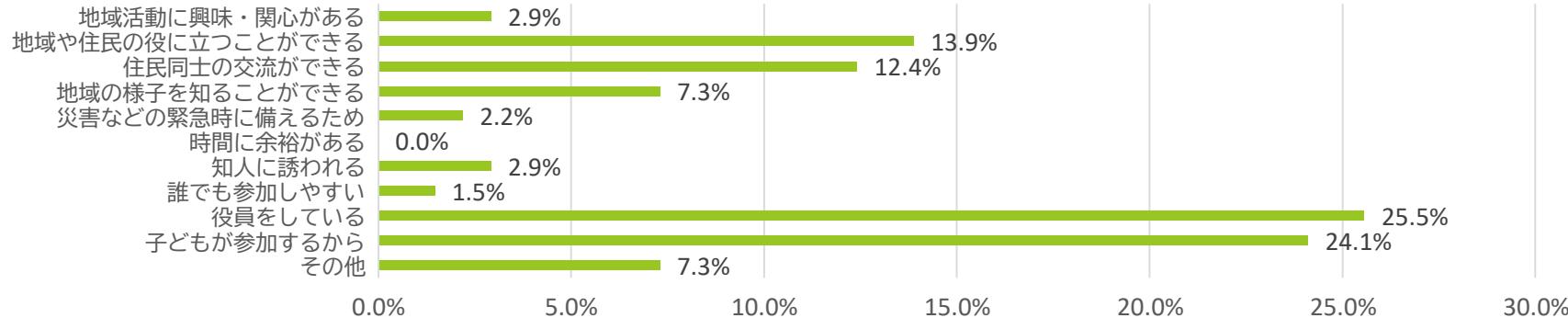
地域のスポーツ大会や運動会など	子ども会、地域の子供会役員としての活動
公民館のイベントや町内行事(お祭りや餅つきなど)	子育て支援センターのボランティアや子ども食堂など
清掃活動(溝掃除、クリーン松江、海岸清掃、公園掃除、神社清掃、草刈、どぶさらい)	交通安全運動
町内会の役員、町内会行事、商工会議所青年部など	小学校のPTA活動、地域の子育て活動

# 【地域活動について】

## 問9 積極的に地域活動に参加する理由

「役員をしている」が25.5%と最も多く、次いで「子どもが参加するから」が24.1%、「地域や住民の役に立つことができる」が13.9%、「住民同士の交流ができる」が12.4%であった。

その他としては、「必ず回ってくるものなので仕方なく」、「参加しないといけないため」などの回答があった。



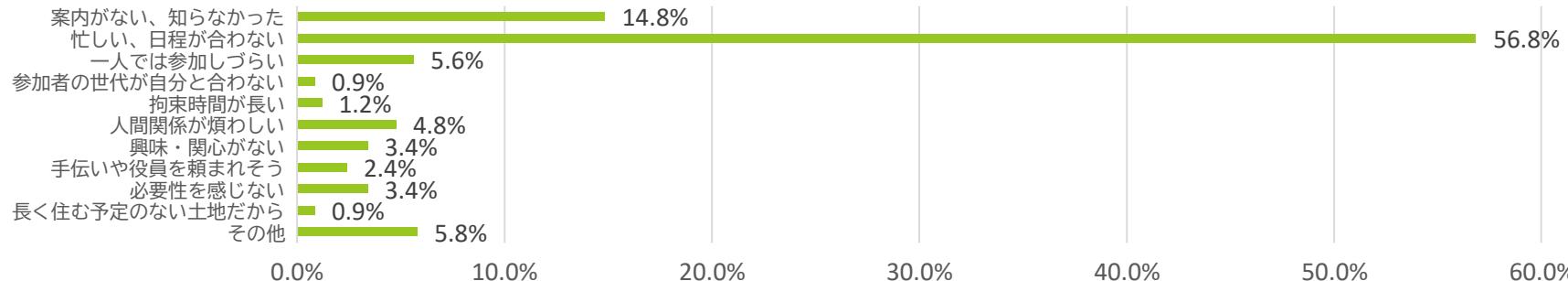
### その他の回答

役員は必ず回って来る	子供に見せるため、コミュニティ教育や情操教育の一貫と考えている
人手不足で出て下さいと頼まれるため	わが子(親子)を地域の方に認識していただきて、特に子どもが困った状況の時に手助けしていただける人間関係を構築しておきたいから
参加しないと自分に役が回って来た時にお願いしづらくなるため	環境はこれから子供達が大きくなって過ごしていくのに大切だから
清掃活動は参加しないとお金が発生するため参加している	人が多いところだと子どもが参加しづらいが、少人数での活動では安心して参加ができるため

# 【地域活動について】

## 問10 地域活動に消極的な理由

「忙しい、日程が合わない」が56.8%と最も多く、次いで「案内がない、知らなかつた」が14.8%であった。  
その他としては、「今は役員ではないため」や「自治会に加入していないため」などの回答があった。

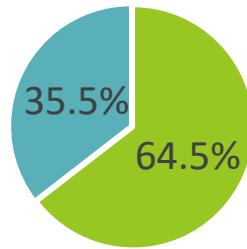


### その他の回答

現在役員でないため、参加機会が少ない	地域自体が高齢者ばかりで活動自体がほぼないため
賃貸に住んでおり、自治会に入っていないため	参加出来そうな活動がない
町内会に入ってない。町内会に入らなくても、近隣の人たちと全く関わらない訳でもない	子育てや仕事などで忙しい中、地域活動を運営したり、参加するまでの余力が持てない
新しい宅地で自治会もない。核家族、若年の世帯が多い	活動に変わり映えがないため
面倒だと感じる	平日に実施されても仕事で行けない
年に1、2回の頻度でしか行事がないため	ボランティアでなく時給の支払いがあれば良い

# 【地域活動について】

## 問11 地域活動に対する将来的な考え方

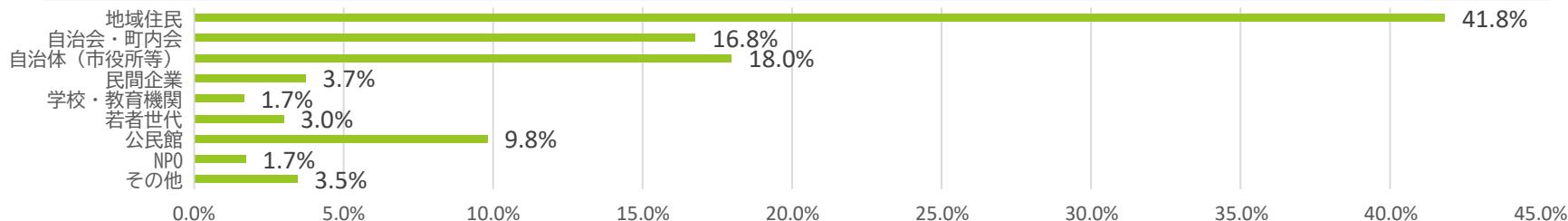


「今は参加することが難しいが、将来的に参加できる状況になれば参加したい」が64.5%であり、「将来的にも参加したくない」が35.5%であった。

- 今は参加することが難しいが、将来的に参加できる状況になれば参加したい
- 将来的にも参加したくない

## 問12 地域活動は誰が中心となって取り組むべきか

「地域住民」が41.8%と最も多く、次いで「自治体(市役所等)」が18.0%、「自治会・町内会」が16.8%であった。その他としては、「やりたい人がやれば良い」という意見が多く、「わからない・なくて良い」などの回答があった。



### その他の回答

やりたい方がやれば良い、時間を持て余す方

わからない、なくて良い

年齢関係なく、地域住民、自治会、町内会、自治体、民間企業、学校  
教育機関、公民館すべて

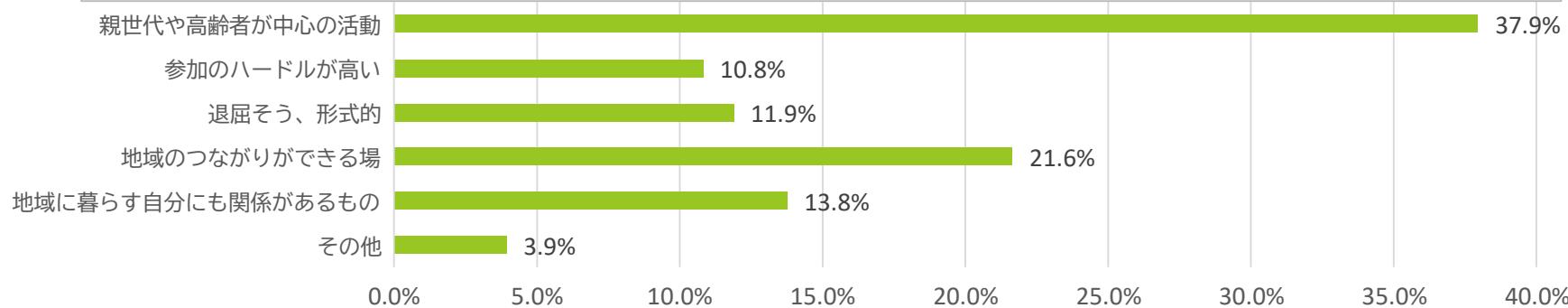
地域活動の内容による。内容によって、公民館主体のもの、自治会が中心  
となって行うものなど、いろいろあると思う

# 【地域活動について】

## 問13 地域活動にどのようなイメージを持っていますか？

「親世代や高齢者が中心の活動」が37.9%と最も多く、次いで「地域のつながりができる場」が21.6%であった。

その他として、「役員が大変」、「高齢者との考え方の違いがある」、「昔からのやり方が重んじられている」、「繋がりができる反面、負担大きい」、「面倒くさい」、「大変そう」などの回答があった。



### その他の回答

地域活動はあった方がいいとは思うが、役員などが発生することもあり、高齢者との考え方の違いや時間の余裕もないことから、煩わしさを感じる

地域のつながりが出来て良い面もあるが、負担が大きいイメージもある

役員が本当に大変なイメージ

ルールが曖昧、自治会ごとに異なるので、不公平感がある

昔からのやり方を重んじるあまり、行事自体の精査や運営の効率的な手法が通らないと聞く

特に公民館関連は活動内容が重複するものや、総会に参加するだけのようなものが多い。一人が何役もしなければならず、地域活動そのものを整理しない限り、ネガティブな印象が付き纏う

時代が変わり何が正解かわからなくなっているイメージ

運動会など人数が足りないと無理やり参加を促すイメージ

## 【問14 どのようなテーマの地域活動であれば参加したいと思うか】

自由記述により、主に次のような回答があった。特に、「子どもにとって地域を知ることに繋がる活動、より良くする活動」、「防災関連の活動」、「困っていることが解決できる活動」などの回答があった。

### 回答

子どもにとって社会や地域を知ることに繋がる活動、子どもが楽しめて繋がりが深まるような活動

地域をより良くする・地域課題を話し合う場や、地域を活性化する目的がある活動

地域の繋がりは災害の時などに必要であるため、防災関連の活動

困っていることが解決できるような活動(フードバンク、子ども食堂、学習支援、引きこもりの方のアウトリーチ支援活動など)

自治会の加入有無にかかわらず参加できる清掃活動など

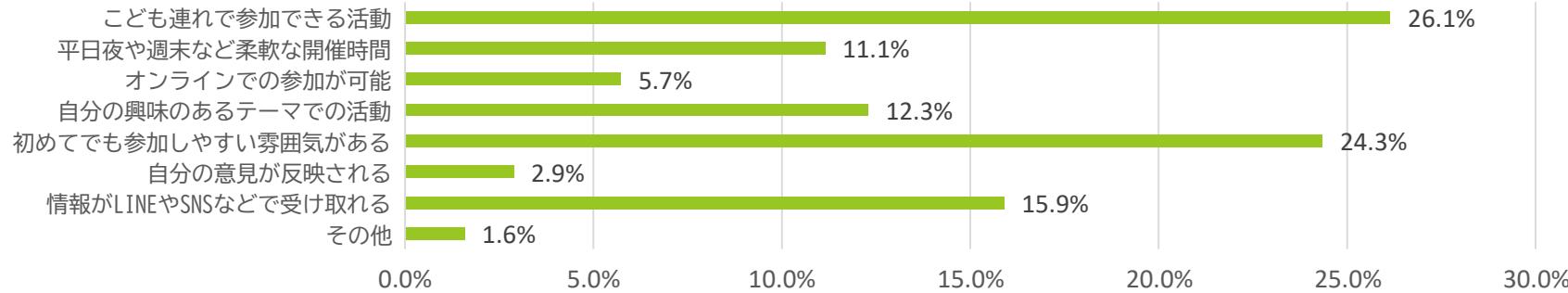
子どもの預かり制度がある、子育て世代が集まる、同世代を中心に集まって様々な状況を共有できる活動

# 【地域活動について】

## 問15 どのような工夫があれば地域活動に参加しやすくなると思いますか？

「こども連れて参加できる活動」が26.1%と最も多く、次いで「初めてでも参加しやすい雰囲気がある」が24.3%、「情報がLINEやSNSで受け取れる」が15.9%であった。

その他として、「役員の負担をなくすこと」、「ポイント付与」、「行事内容の簡素化」、「参加を強制されないこと」などの回答があった。



### その他の回答

強制されて役が回るようだと嫌煙してしまうため、本当に必要な最小限のものだけにしていくと良いと思う

強制ではなく、気軽に参加したり、無理な場合は断れる雰囲気、あまり参加できなくても責められない雰囲気があると参加してみようかと思う

手間のかかる内容を減らすこと

回覧板などはLINEやメールで良い

参加したらポイントを付与し、ポイントに応じて減税または商品券を配布すると、参加者は増えると思います

例えば掃除であれば、必要なことだけしっかりと段取りがわかるほうがいい

行事内容の簡素化。変える所は、いまの時代に合わせて柔軟に変えて簡素化すると、参加のハードルが下がると思う

役員の負担を少なくすることで役員成り手を増やす

# 【問16 行政に支援して欲しいことは何ですか】

自由記述により、主に次のような回答があった。特に、「情報発信のオンライン化」に関する回答が多かった。その他として、「募金集め廃止」、「町内会・自治会の負担軽減」、「地域活動に参加しやすいような働きかけ」などの回答もあった。

## 回答

デジタル化・IT化の推進(広報配布物や回覧板のオンライン化、LINEやSNSでの情報発信強化など)

各自治会経由の募金集め廃止(募金は任意であるため各自振込に移行してほしい)

町内会・自治会への負担軽減

地域活動に参加することへのインセンティブ制度(ポイント制度など)、地域活動による休暇を企業に働きかけること

子どもだけで行ける距離でのイベント充実(学校での行政支援によるイベントなど)

道路や街灯の整備や側溝の管理や空き家や空き地の管理。(自治会ではなく、行政に管理してほしい)

賃貸で自治会に加入していない世帯の自治会加入(不公平感をなくしてほしい)

地域活動の予算支援

公民館が地域のキーパーソン的役割を担い、幅広い住民層に地域活動を発信

自治会が機能しているか定期的に確認して欲しい(地区任せではなく、市も携わって一緒に動いて欲しい)

# 【問17 今後、あつたら良いと思う取組について】

自由記述により、主に次のような回答が得られた。特に、「会議のオンライン参加、発信、広報物のネット配布」、「自治会費等の集金の電子化」といった回答が多くかった。その他として、「子育て世代の意見交換会」、「自治会加入のメリットを示す」などの回答があった。

## 回答

子育て世代の意見交換会、気軽に集まり話せるコミュニティ、世代別の意見交換会など

自治会の会議等へのオンライン参加、会議録のデータ受け取り、意見をオンライン等で伝えることができる

自治会費等、集金の電子化

子どもの遊べる場所・長期休暇中の居場所を増やす取り組み(体育館の開放や学習室の確保・子ども寺子屋など)

市報などの配布物を自治会に任せらず、ネット配布や紙で欲しい人は自分で取りに行くようにする

地域の趣味が合う人で集まれる場や、癒やしを取り入れた活動

自治会に入ることでどんなメリットがあるのかを示すようなこと

多種多様なボランティアへ、ボランティアポイント制度の導入

定期的な地域のフリーマーケットを開催し、子どものいる家庭を支えたり、高齢者との交流を図る(収益は地域活動に充てる)